

一ノ一一、笠置山縁起（護国寺本）

出典 イ、校刊美術史料、寺院篇（藤田経世編 中央公論美術出版）を使用し、  
ロ、諸寺縁起集（法眼清水清範筆記 大日本仏教全書 寺誌叢書第二）で補完した。

解説 諸寺縁起集に法隆寺、興福寺、薬師寺、唐招提寺など南都などの大寺三十一ヶ寺と並んで笠置寺の草創が記載されている。

この縁起集は興福寺大乘院から護国寺に伝えられたため、護国寺本「諸寺縁起集」といわれる。もともと各寺院の縁起を収録したもので一律にその作成年代を確定できないが、全体の成立は鎌倉中期以降とみられる。この縁起は学術論文で一度紹介されたことはあるが、今まで笠置寺関係の案内書には記されていない。

内容は大筋では笠置寺縁起と同じであるが、危難にあつた皇子を天智天皇の第三皇子と特定していること、再度の登山の際も神仏の奇瑞があつたこと、弥勒像の記述が詳しいことなどが笠置寺縁起と異なる点である。

原文

天智天皇第三皇子、出宮遊獵山城国相楽郡、入一深山忽得鹿、馳馬越峯渡谷、不憚石巖、付鹿追行、鹿欲遁矢心深、自高巖上捨身逃落、王子之馬不走留、同欲落、前之二足既離巖在虚空、皇子余命在只今、我身欲失、目晚魂消、不能引手繩、無力返蹄、悲嘆之余、心中誓願、我願為此山之地主、頭弥勒像、令保今度之命給へ云々、即隨祈念、馬忽留身亦全、仏神之靈応於爰願之間、喜悦信伏、涙下兩行、但此深山人跡絶、奇巖聳、雖造仏誰来礼拝之、設雖造雨露忽犯、争得久、思惟未定之間、日暮路遠、以後日亦来、欲廻意匠之間、為後脱御笠、置石上而還御、其後経数日、歎願之難遂、向彼山、尋泉河流、登置笠峯不遂、有一人童子、其形貌非普通人、貴人上臆氣色也、爰王子云、我在造仏之願、為之如何、童子云我奉造助君願云々、雖奇思給、與童相共趣彼山、於山之北之麓、河之南際、童子忽失畢、即黒雲覆峯、荒風忽吹、大雨即降、雷電霹靂、大地欲破、山峯欲崩、我有何罪、依何科、忽遇此灾、愁歎而有余 雖然無程天晴明静、成奇登峯見之、所置笠之巖恣削之、其面如掌、彼面五丈之弥勒彫刻之、相好殊妙如生身、彫藍田之青所、似毘首羯摩造梅檀之像、頭兜卒之妙相、同末田尊者写生身之質、雖経五十六億七千万歳不可朽、待三会之下生、及千仏之出世、利生何無限、況哉天人雨降、常成供養、古今類少者歟

読み下し文

天智天皇第三皇子、宮を出て山城国相楽郡に遊獵し一深山に入る。忽ち鹿を得て馬を馳せ、峯を越へ谷を渡り石巖も憚からず鹿に付き追ひ行く。鹿は矢を遁れんと欲する心深く、高き巖上自り身を捨て逃げ落つ。王子の馬、走らずして留まるも同じく落んと欲し、前の

二足既に巖を離れ虚空に在り。皇子の余命只今に在り、我身を失するを欲（むさぼりおしむ）す。

目晚れ魂消へ、手縄を引くに力無く、蹄を返すこと能はず。悲嘆の余り心中に誓願するに、「我が願ひ、此山の地主が為に弥勒像を顕さん。今度の命保たしめ給へ」と云々。即ち祈念に随ひ馬忽ち留まり身を亦全うす。仏神の靈応、爰に於いて之を願うの間、喜悦信伏（信じて服従する）し、涙下りて兩行す。

但し此の深山は人跡絶へ、奇巖聳ゆ。仏を造ると雖も誰か来りて之を拝するや。設し造ると雖も雨露忽ち犯し、争いて久しきを得るや。思惟（思考）未だ定まらざるの間、日暮れて路遠し。後日を以て亦た来りて意匠（工夫）を廻らさんと欲するの間、後の為に御笠を脱ぎ、石上に置き還御す。

其の後数日を経るも願の遂げ難きを歎き、彼の山に向いて泉河の流れを尋ね、笠を置きたる峯に登らんとするも遂げず。

一人の童子あり。其の形貌（すがた）普通の人に非ず。貴人上臈（位の高い人）の気色（顔や態度）也。爰に王子云う「我れ仏を造るの願ひ在り。之が為如何」と。童子云う、「我れ造りて君が願ひ助け奉らん」と云々。奇に思い給うと雖ども、童と相ひ共に彼の山に趣く。

山の北の麓、河の南際に於いて童子忽ち失せ畢んぬ。即ち黒雲峯を覆ひ、荒風忽ち吹き、大雨即に降る。雷電霹靂は大地を破らんと欲し、山の峯を崩さんと欲す。我れに何の罪有り、何の科に依りてか忽ち此の災いに遇う。愁歎（嘆き悲しむ）して余り有り。然りと雖も程無く天晴れ明静となる。

奇成れりと峯に登り之を見るに、笠を置きたる所の巖、恣に之を削り、其面掌の如くして、彼の面に五丈の弥勒之を彫刻す。相好殊に妙にして生身の如し。藍田（注二）の青を彫る所、毘首羯摩（注二）の梅檀（香木の一種）の像を造るに似て、兜卒の妙相を顕す。末田尊者（注三）が生身の質（からだ）を写すに同じなり。

五十六億七千万歳経ると雖も朽ちるべからず。三会の下生を待ちて、千仏の出世に及ぶ。利生（衆生を利益すること）限りなかるべし。況や天人雨を降らせ常に供養を成す。古今類いまれなる者歟。

注一、中国西安近くの地名、美玉を産する。

注二、世界創造神。

注三、北天竺の一寺に身の丈十余丈の弥勒像あり、末田底迦大阿羅漢の作になるといふ（今昔物語卷四）。